

茨城県東海村内におけるアカカミアリの確認について

<茨城県同時発表>

平成 30 年 5 月 25 日（金）
環境省自然環境局
野生生物課 外来生物対策室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8344
室長 曾宮 和夫
室長補佐 八元 綾
担当 深谷 雪雄
関東地方環境事務所 野生生物課
直通 048-600-0817
課長 横田 寿男
係長 堀 伸二郎

平成 30 年 5 月 22 日（火）に茨城県那珂郡東海村内の倉庫敷地に搬入された貨物において運送事業者により発見されたアリ（約 30 個体）について、専門家による種の同定の結果、5 月 24 日（木）に特定外来生物であるアカカミアリ（*Solenopsis geminata*）と確認されましたので、お知らせします。

当該アカカミアリは、インドネシアのスカルノハッタ国際空港（ジャカルタ郊外）より、成田国際空港に到着後、陸路にて東海村内の倉庫敷地に運ばれた貨物の木製梱包の内部より発見されたものです。

確認された個体については、既に殺虫処理しており、また発見地点周辺には、ベイト剤（殺虫餌）を設置しています。

1. 経緯

- 5/18 インドネシアのスカルノハッタ国際空港から当該貨物を積載した飛行機が成田国際空港に到着。
- 5/21 陸路にて茨城県那珂郡東海村内の倉庫敷地へ移送。
- 5/22 運送事業者が貨物を開梱中にアリを約30個体発見したため、茨城県生物多様性センターに連絡。
アカカミアリの疑いがあったため、同センターから関東地方環境事務所に通報。
- 5/24 当該アリについて、専門家が、アカカミアリであることを確認。

2. 今回確認されたアカカミアリについて

確認されたアカカミアリは、茨城県那珂郡東海村内の倉庫敷地に運ばれた貨物の木製梱包の内部で約30個体発見され、発見時に事業者が全て殺虫処理しました。全て働きアリで女王アリ等は確認されていません。

3. 対応状況

発見地点周辺において、ベイト剤（殺虫餌）を設置し、防除を実施しています。なお、周辺では、アカカミアリと疑わしいアリは他に確認されていません。

また、当該アリが発見された倉庫敷地では既に確認調査を開始しており、当該貨物が一時的に留置された成田国際空港等においては、関係者が連携協力して確認調査に着手することとしています。アカカミアリが確認された場合には、速やかに防除等を行います。

なお、空路で運ばれた貨物からアカカミアリが発見された例は、昨年 11 月にも確認されています。（平成 29 年 11 月 27 日発表「広島市内におけるアカカミアリの確認について」<http://www.env.go.jp/press/104849.html>）

4. 相談窓口の設置

アカカミアリやヒアリと疑わしいアリを発見した場合や、アカカミアリやヒアリの特徴等一般的な問合せ、健康被害の問合せ等については、「ヒアリ相談ダイヤル」をご利用ください。

- ・受付曜日：月、水、金、土、日（祝日を含み、12 月 29 日～1 月 3 日を除く。）
- ・受付日時：午前 9 時から午後 5 時
- ・ヒアリ相談ダイヤル 0570-046-110

ヒアリの特徴などについては下記を参照してください。

「特定外来生物ヒアリに関する情報」

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

○今回確認されたアカカミアリ <茨城県生物多様性センター提供>



○今回アリが発見された場所



(参考)

アカカミアリについて

1. 生態について

- 原産地：アメリカ合衆国南部～中米
- 世界各地の熱帯～亜熱帯に広く拡散。フィリピン等の東南アジア、台湾等で確認されている。
- 日本での生息状況：硫黄島に定着。その他沖縄県でかつて確認記録があるほか、過去には、輸入貨物の検査時に検出された例が複数回ある。
- 亜熱帯地域の裸地や草地などの開けた環境に生息し、土中に営巣する。雑食性で、甘露や植物の種などを餌とする。水に浮んで集団で移動するなど拡散の能力が高い。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：攻撃的で高い採餌能力を持ち、他の小型節足動物などを捕食し、在来の生物多様性を減少させることが知られている。硫黄島においては他のアリ類を駆逐し最優占種となっている。
- (2) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。ヒアリに比べると毒は弱いといわれている。

